



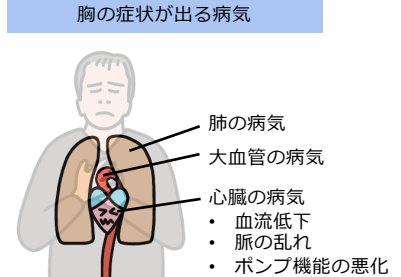
担当：米内医師

2023年1月
第18回

胸の様子がおかしい !?

1 胸の症状が出る病気とは？

胸が苦しい、息切れ、締め付けられるような感じ、押されるような痛みなどの、胸の症状が出る病気の中で注意すべきものとして、大きく分けて、心臓や大血管の病気と肺の病気があります。今回は心臓の病気についてご説明します。心臓病には、主に心臓の血流が低下する病気と、脈が乱れる病気、心臓のポンプ機能が低下する病気などがあります。



2 その胸の痛み、放っておくと危ないかも !?

胸の痛みが出る病気として典型的なのは、心臓の血管（冠動脈）の動脈硬化によって引き起こされる心筋梗塞や狭心症などです。冠動脈は胸郭の奥深くにある3mm程度の血管であるため、健康診断で行われる通常の検査では必ずしも正確な診断は難しいのが実情です。心臓の動脈硬化を引き起こしやすいリスク（冠危険因子）を評価しながら、精密検査の必要性を検討します。

冠危険因子

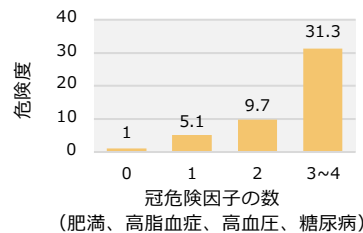
気をつけられるもの

糖尿病
高血圧
脂質異常症
喫煙

気をつけられないもの

性別（男性）
加齢
家族歴

冠危険因子の数と危険度



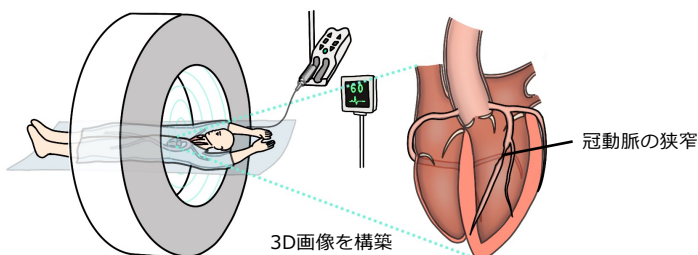
動脈硬化の有無を
推理する



3 オススメの検査：心臓CT

症状やリスク因子を評価し、心電図や心臓超音波などの所見を加味し、心臓CTの必要性を考えます。心臓CT検査を行うことで、冠動脈を描出し狭心症や心筋梗塞を引き起こしていないかを判定することができます。

心臓CT



心臓CT検査は外来でできる検査です。造影剤というお薬を点滴から流して、心臓の血管をきれいに描出します。胸の症状にお困りで、狭心症や心筋梗塞など心配されている場合は、オススメの検査です！

